

平成27年9月吉日

ケアマネジャー様
施設ケアマネジャー様
サービス計画作成担当者様

平成27年度「京都市ケアプラン研修」開催案内の送付について

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当会の活動に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年度京都市ケアプラン研修開催案内一式を送付させていただきます。
今年度も昨年度に引き続き、合同研修＋コース別研修です。

今回のテーマは「リハビリテーション」です。リハビリテーションに関する各分野の専門家（医師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等）の役割や支援方法を理解することで、自立支援に向けたケアプランの作成につなげていきます。

●合同研修

- ・・・すべてのコースの基礎となる内容です。演習を中心とした「コース別研修」での理解を、より深めるためにも、ぜひ参加して下さい。

●コース別研修

- ・・・所属施設や経験別にコース設定されています。介護予防コースと居宅介護コースは＜基礎＞＜実践＞の2段階ありますが内容は異なりますので、両方参加して頂いても結構です。普段、作成しているケアプラン以外のコースを受講して頂くことも可能です。

介護予防コース ＜基礎＞ ＜実践＞	言語障害のある事例と糖尿病性網膜症のある事例を用いて、社会参加や自立支援の考え方をどのようにケアプランに反映させるかを学びます。また、今後の地域支援事業のあり方についても一緒に考えていきます。
居宅介護コース ＜基礎＞ ＜実践＞	圧迫骨折後の生活範囲の拡大に向けた時期の事例と、重度意識障害のある維持期のリハビリテーションを行っている事例を用いて、医療との連携や今年度から始まった「リハビリテーション会議」のあり方等、ケアプラン作成に必要な視点を学びます。
施設系コース	生活リハビリテーションを考える事例を通して、「活動や参加」がイメージできるケアマネジメントについて学び、多職種協働での実践を目指したケアプラン作成に取り組みます。

受講料は**無料**です。

【お問い合わせ・お申し込み先】

公益社団法人 京都府介護支援専門員会 事務局

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町 375

ハートピア京都7階

TEL075-741-7504 FAX075-254-3971 E-Mail: kensyu@kyotocm.jp

「ケアプラン」について
学ぶ貴重な機会です。
ぜひ、お申込みください！

平成 27 年度 京都市ケアプラン研修「介護予防」 開催案内

- 1 趣 旨 多職種連携の中で「リハビリテーション」における地域包括支援センター職員や介護支援専門員の役割を理解する。演習を通して、課題分析及びケアプラン作成を行い、予防プラン作成時の「リハビリテーション」の留意点について考える。
- 2 主 催 京都市
- 3 実施団体 公益社団法人 京都府介護支援専門員会
- 4 受講対象 地域包括支援センターにおいて実務に従事している方
居宅介護支援事業所において介護支援専門員として実務に従事している方
※ その他の方の申込も受付いたします。

5 開催日時及び研修内容

種類	開催日時	研 修 内 容
合同研修	10 月 9 日(金) 13:00～16:00	【講演会】 「回復期から、生活期リハビリテーションへの連携と課題（仮題）」 十条武田リハビリテーション病院 リハビリテーション科 小川美歌 氏 「生活期リハビリテーションと自立（仮題）」 京都市域京都府リハビリテーション支援センターがくさい病院 清水真弓 氏 【シンポジウム】 地域包括ケアのなかでのリハビリテーション～自立支援に向けた連携とは～
〈基礎〉	10 月 16 日(金) 10:00～16:00	講義・演習:「脳梗塞後遺症による失語症を乗り越え地域に出ていきたい女性の事例」を通して、アセスメントやケアプラン作成プロセスの基礎を学ぶ。 【キーワード】 転倒、本人・家族の希望、主治医の意見、自立支援、住環境整備、地域支援事業への移行 ＊リハビリテーション・ケアマニュアルについて学ぶ。 ＊リハビリテーションのケアマネジメントの支援のあり方の基本を学ぶ。 ＊課題整理総括表の記入方法について学ぶ。 ＊課題整理総括表からケアプラン作成までを学ぶ。
〈実践①〉	11 月 5 日(木) 10:00～16:00	講義・演習:「妻が亡くなり、ひとりになってさびしい。どうしていいかわからないと訴える糖尿病性網膜症のある男性の事例」を通して、この方の自立支援や社会参加をどのように促していけばよいかを、リハビリテーションの視点から考える。 【キーワード】 糖尿病の進行予防、生活環境の整備、自立支援、人との交流 社会参加、介護保険以外のサービスや制度の利用 ＊リハビリテーション・ケアマニュアルについて理解を深める。 ＊課題整理総括表を作成する。 ＊課題整理総括表からケアプランを作成する。 ＊「リハビリテーション」の視点から、実践的なケアプラン作成についてグループで意見交換を行う。
〈実践②〉	11 月 13 日(金) 10:00～16:00	<実践①>と同じ

(続く)

『介護予防』

- ◇ 各研修の開場時間は、いずれも 9:20 です。(合同研修は 12:30 開場)
- ◇ <実践①>11月 5 日(木)と<実践②>11 月 13 日(金)の研修は、同じ内容です。

6 会 場	合同研修	京都テルサ	テルサホール
	<基礎>	ハートピア京都	第4・5会議室
	<実践①>	ハートピア京都	大会議室
	<実践②>	ハートピア京都	大会議室
	※ 地図 別紙参照(公共交通機関の利用をお願いします。)		

7 定 員	合同研修	800 名
	<基礎><実践①><実践②>	各 100 名

8 申込方法

- ◇ 開催案内をよくお読みの上、別紙「受講申込書」に必要事項を記入し、事務局あてに FAX でお申し込み下さい。
- ◇ **締切:平成 27 年 9 月 24 日(木)必着**
- ◇ 定員になり次第締め切ります。
- ◇ <基礎>と<実践>の両方への申込も可能です。
- ◇ 受講申込者数によっては、合同研修と併せて受講される方を優先する場合があります。

9 受講の際の注意点

- ◇ 遅刻・早退及び代理受講は認められません。
- ◇ 受講決定された方には受講決定通知書をお送りいたしますので、確認の上、必ず当日ご持参下さい。受講決定通知書は、9 月 28 日(月)に発送予定です。10 月 2 日(金)までにお手元に届かない場合は、下記事務局までご連絡願います。
- ◇ 「介護予防コース」につきましては、包括的・継続的ケアマネジメントの観点からも定期的に受講していただくことがスキルアップにつながります。過去に受講済みの方も、再度受講をご検討ください。
- ◇ 昼食は各自でご用意ください。

平成 27 年度 京都市ケアプラン研修「居宅コース」開催案内

- 1 趣 旨 多職種連携の中で「リハビリテーション」における介護支援専門員の役割を理解する。演習を通して、課題分析及びケアプラン作成を行い、「リハビリテーション」のケアプラン作成の留意点について考える。
- 2 主 催 京都市
- 3 実施団体 公益社団法人 京都府介護支援専門員会
- 4 受講対象 居宅介護支援事業所、小規模多機能居宅介護事業所において介護支援専門員として実務に従事している方
- ※ その他の方の申込も受付いたします。

5 開催日時及び研修内容

種類	開催日時	研 修 内 容
合同研修	10 月 9 日(金) 13:00～16:00	【 講演会 】 「回復期から、生活期リハビリテーションへの連携と課題（仮題）」 十條武田リハビリテーション病院 リハビリテーション科 小川美歌 氏 「生活期リハビリテーションと自立（仮題）」 京都市域京都府リハビリテーション支援センターがくさい病院 清水真弓 氏 【 シンポジウム 】 地域包括ケアのなかでのリハビリテーション～自立支援に向けた連携とは～
〈基礎〉	10 月 18 日(日) 10:00～16:00	講義・演習：「胸椎圧迫骨折により入退院を繰り返す独居で生活している女性の事例」を活用し、訪問リハビリテーションを中心とした多職種連携の実際を学ぶ。 【キーワード】 リハビリテーション会議の意義 ＊リハビリテーションマネジメントの視点を学ぶ。 ＊課題整理総括表、評価表の記入方法について理解する。 ＊リハビリテーション・ケアマニュアルを活用しケアマネジメントの基本を理解する。
〈実践①〉	10 月 24 日(土) 10:00～16:00	講義・演習：「医療との連携を密に行い、状態が安定している脳挫傷・重度意識障害のある男性の事例」を活用し、多職種によるリハビリテーションの必要性を学ぶ。 【キーワード】 病状の維持、献身的な介護を行う妻をチームで支える ＊課題整理総括表を用いて、リハビリテーションにおける課題(ニーズ)設定のプロセスを理解し、ケアプランを作成する。 ＊リハビリテーション・ケアマニュアルを活用する。
〈実践②〉	10 月 26 日(月) 10:00～16:00	<実践①>と同じ

◇ 各研修の開場時間は、いずれも 9:20 です。(合同研修は 12:30 開場)

◇ <実践①>10 月 24 日(土)と<実践②>10 月 26 日(月)の研修は、同じ内容です。

(続く)

6 会 場 合同研修 京都テルサ テルサホール
 <基礎> <実践①> <実践②> 京都テルサ セミナー室
 ※ 地図 別紙参照(公共交通機関の利用をお願いします。)

7 定 員 合同研修 800 名
 <基礎> <実践①> <実践②> 各 100 名

8 申込方法

- ◇ 開催案内をよくお読みの上、別紙「受講申込書」に必要事項を記入し、事務局あてに FAX でお申し込み下さい。
- ◇ **締切:平成27年 9月 24日(木)必着**
- ◇ 定員になり次第締め切ります。
- ◇ <基礎>と<実践>の両方への申込も可能です。
- ◇ 受講申込者数によっては、合同研修と併せて受講される方を優先する場合があります。

9 受講の際の注意点

- ◇ 遅刻・早退及び代理受講は認められません。
- ◇ 受講決定された方には受講決定通知書をお送りいたしますので、確認の上、必ず当日ご持参下さい。受講決定通知書は、9月28日(月)に発送予定です。10月2日(金)までにお手元に届かない場合は、下記事務局までご連絡願います。
- ◇ 昼食は各自でご用意ください。

平成 27 年度 京都市ケアプラン研修「施設系コース」 開催案内

- 1 趣 旨 リハビリテーションに関する各分野の専門家(医師、作業療法士、理学療法士及び言語聴覚士等)の役割や支援方法を理解することで、自立支援に向けたケアプランの作成につなげる。
「生活リハビリテーション」を考える事例を通して、「活動や参加」がイメージできるケアマネジメントについて学び、多職種協働での実践を目指したケアプラン作成に取り組む。
- 2 主 催 京都市
- 3 実施団体 公益社団法人 京都府介護支援専門員会
- 4 受講対象 介護保険施設及び特定施設入居者生活介護事業所において介護支援専門員として実務に従事している方
※ その他の方の申込も受付いたします。

5 開催日時及び研修内容

種類	開催日時	研 修 内 容
合同研修	10月9日(金) 13:00～16:00	【講演会】 「回復期から、生活期リハビリテーションへの連携と課題（仮題）」 十條武田リハビリテーション病院 リハビリテーション科 小川美歌 氏 「生活期リハビリテーションと自立（仮題）」 京都市域京都府リハビリテーション支援センターがくさい病院 清水真弓 氏 【シンポジウム】 地域包括ケアのなかでのリハビリテーション～自立支援に向けた連携とは～
①	10月15日(木) 10:00～16:00	講義・演習：「慢性呼吸不全で酸素療法を行っており、活動に制限がある事例」を通して、利用者や家族の在宅生活の可能性を考え支援する、多職種協働でのケアプラン作成とプロセスを学ぶ 【キーワード】 本人の願いと家族との調整、多職種協働、医療と施設間連携 *「生活リハビリテーションの視点を持ったケアマネジメント」を学ぶ。 *生活リハビリテーションの具体的なプランニングと、多職種協働のあり方について学ぶ。 *今後の生活や家族の姿を想定した医療機関、他施設との連携についても考えて、ケアプランに取り入れる。 *課題整理総括表の記入方法を学び、ケアプランを作成する。
②	11月6日(金) 10:00～16:00	講義・演習：「腰椎圧迫骨折後に在宅生活困難と考えていた利用者が自らの役割を見出す事で、在宅復帰を決意できた事例」を通じて、在宅生活を想定した、ケアプランの作成とプロセスを学ぶ。 【キーワード】 在宅復帰、生活リハビリテーション、退所後のサービス調整 *「リハビリテーションの視点を持ったケアマネジメント」を学ぶ。 *生活リハビリテーションの具体的なプランニングについて学ぶ。 *退所後の生活を想定した課題をケアプランにとり入れる。 *課題整理総括表の記入方法を学び、ケアプランを作成する。

◇ 各研修の開場時間は、いずれも 9:20 です。(合同研修は 12:30 開場)

(続く)

6 会 場 合同研修 京都テルサ テルサホール
 <①> ハートピア京都 第4・5 会議室
 <②> ハートピア京都 大会議室
 ※ 地図 別紙参照(公共交通機関の利用をお願いします。)

7 定 員 合同研修 800 名
 <①><②> 各 100 名

8 申込方法

- ◇ 開催案内をよくお読みの上、別紙「受講申込書」に必要事項を記入し、事務局あてに FAX でお申し込み下さい。
- ◇ 締切:平成 27 年 9 月 24 日(木)必着
- ◇ 定員になり次第締め切ります。
- ◇ <①>と<②>の両方への申込も可能です。
- ◇ 受講申込者数によっては、合同研修と併せて受講される方を優先する場合があります。

9 受講の際の注意点

- ◇ 遅刻・早退及び代理受講は認められません。
- ◇ 受講決定された方には受講決定通知書をお送りいたしますので、確認の上、必ず当日ご持参下さい。受講決定通知書は、9 月 28 日(月)に発送予定です。10 月 2 日(金)までにお手元に届かない場合は、下記事務局までご連絡願います。
- ◇ 昼食は各自でご用意ください。

平成 27 年度京都市ケアプラン研修 スケジュール

研修名	開催日時	会場	講師
合同研修	平成 27 年 10 月 9 日 (金) 13 : 00～16 : 00	京都テルサ 西館 1 階 テルサホール	講演会 十条武田リハビリテーション病院 小川美歌 氏 京都市域京都府リハビリテーション 支援センターがくさい病院 清水真弓 氏 シンポジウム (調整中)
施設系 < ① >	平成 27 年 10 月 15 日 (木) 10 : 00～16 : 00	ハートピア京都 4 階 第 4・5 会議室	京都市ケアプラン研修 ワーキングメンバー 川添チエミ氏 前田 昭美氏 大米 順子氏
介護予防 < 基礎 >	平成 27 年 10 月 16 日 (金) 10 : 00～16 : 00	ハートピア京都 4 階 第 4・5 会議室	京都市ケアプラン研修 ワーキングメンバー 岩崎由香里氏 門脇 郁代氏
居宅 < 基礎 >	平成 27 年 10 月 18 日 (日) 10 : 00～16 : 00	京都テルサ 東館 2 階 セミナー室	京都市ケアプラン研修 ワーキングメンバー 川添チエミ氏 西村 由美氏
居宅 < 実践① >	平成 27 年 10 月 24 日 (土) 10 : 00～16 : 00	京都テルサ 東館 2 階 セミナー室	京都市ケアプラン研修 ワーキングメンバー 高木はるみ氏 川添チエミ氏
居宅 < 実践② >	平成 27 年 10 月 26 日 (月) 10 : 00～16 : 00	京都テルサ 東館 2 階 セミナー室	京都市ケアプラン研修 ワーキングメンバー 高木はるみ氏 川添チエミ氏
介護予防 < 実践① >	平成 27 年 11 月 5 日 (木) 10 : 00～16 : 00	ハートピア京都 3 階 大会議室	京都市ケアプラン研修 ワーキングメンバー 和田 円氏 岩崎由香里氏
施設系 < ② >	平成 27 年 11 月 6 日 (金) 10 : 00～16 : 00	ハートピア京都 3 階 大会議室	京都市ケアプラン研修 ワーキングメンバー 前田 昭美氏 大米 順子氏
介護予防 < 実践② >	平成 27 年 11 月 13 日 (金) 10 : 00～16 : 00	ハートピア京都 3 階 大会議室	京都市ケアプラン研修 ワーキングメンバー 門脇 郁代氏 和田 円氏

※各コースの内容については別紙開催案内をご参照ください。

F A X
0 7 5 - 2 5 4 - 3 9 7 1

(京都府介護支援専門員会)

締め切り 9月24日(木)

送付状は不要です

別 紙

平成27年度 京都市ケアプラン研修 受講申込書

※記入欄の該当するものを○で囲んでください。

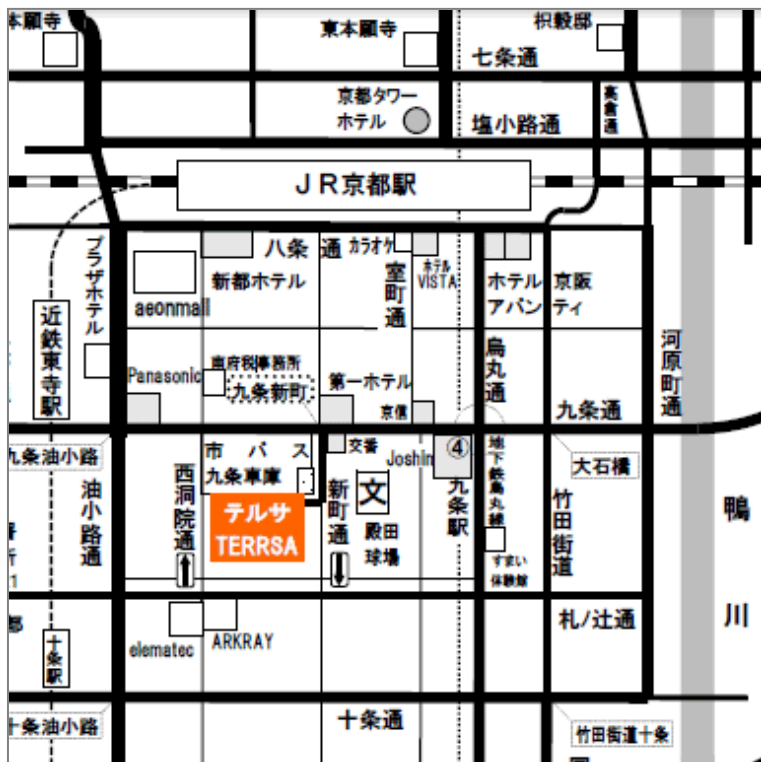
※講演会については資料の準備がありますので出欠を必ずご記入ください。

研修コース・日程			記 入 欄(○をつける)		
合同研修 (講演会・シンポジウム) 10月9日(金)			参加する ・ 参加しない		
居宅	<基礎>	10月18日(日)	参加する ・ 参加しない		
	<実践>	① 10月24日(土)	第一希望	第二希望	参加しない
		② 10月26日(月)	第一希望	第二希望	参加しない
介護予防	<基礎>	10月16日(金)	参加する ・ 参加しない		
	<実践>	① 11月5日(木)	第一希望	第二希望	参加しない
		② 11月13日(金)	第一希望	第二希望	参加しない
施設系	-	① 10月15日(木)	第一希望	第二希望	参加しない
		② 11月6日(金)	第一希望	第二希望	参加しない
		※ 施設系コースは、日程①②いずれも第一希望でも可			

ふりがな			
申込者氏名			
事業種別 (当てはまるものに○)	地域包括支援センター ・ 居宅介護支援事業所 ・ グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護 ・ 特別養護老人ホーム ・ 老人保健施設 ・ 介護療養型医療施設 ・ その他()		
所属事業所名			
事業所所在地	〒		
事業所TEL		事業所FAX	
介護支援専門員の資格	有 ・ 無	有の方は 介護支援専門員番号(8桁)	
ケアプラン作成経験	有 ・ 無	有の方はその経験年数	年

平成 27 年度京都市ケアプラン研修会場

京都テルサ



【京都テルサ】

京都市南区東九条下殿田町70

- ・JR京都駅(南北自由通路八条口)より徒歩10分
- ・近鉄「東寺駅」より徒歩5分
- ・地下鉄「九条駅」より徒歩5分
- ・市バス「九条車庫」すぐ

ハートピア京都



【ハートピア京都】

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」5番出口(連絡通路にて連結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停車車烏丸通り沿い南へ

※いずれも公共交通機関をご利用ください。